

ふるさと

1 主 題 地域を歩こう

2 主題・教材について

「ふるさと」は、本来、誰にとっても大切な場所である。なぜなら、「ふるさと」は、単に「生まれ育った場所」というだけでなく、一人一人の存在が認められ、安心して過ごせる「居場所」であるべきだからである。

しかしながら、現代に生きる私たちは、精神的には満たされていないと言われることが多い。子どもたちも同様であり、今、自分が暮らしている所を「ふるさと」（自分が安心して存在できる場所・自分の存在をまるごと受け止めてくれる所）として捉えられずにいることも少なくない。その結果、無意識に自らの不安を打ち消すために、他者を攻撃する行動をとることもある。

この教材では、そうした子どもたちに『ふるさと』とは何か」という問いかけから始め、「ふるさと」の大切さに気づかせたい。そして、自分たちが暮らしている地域をかけがえのない「ふるさと」として捉え、その地域で育ったことに誇りをもたせたい。次に、子どもたちが自分の「ふるさと」を誇りうる社会として築いていける力を付けるため、地域を歩き、地域の課題に触れさせる。そして、今、自分が暮らしている地域を愛し、そこをよりよい地域にしようとして課題解決を目指し、活躍されている人の姿などから、人としての生き方を学ばせたい。

この活動を通して、今の自分の姿や学級、社会の有り様を見つめ、さらには、よりよい社会の創造に努めようとする力を付けさせたい。

（関連教科・領域：総合的な学習の時間）

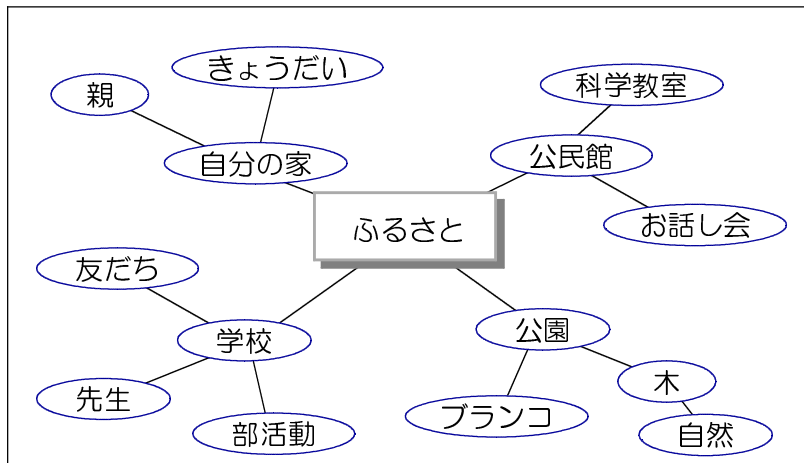
- ## 3 ねらい
- ・地域に興味をもち、なかまと協力して地域に学ぶ学習に意欲的に取り組む。
 - ・地域の歴史や文化、特徴などを正しく理解する。
 - ・地域から学んだことを、自らの生活を高める活動につなげる。

4 展開例

過程	主な学習活動	指導上の留意点	備考
導 入	「ふるさと」とは何だろう。		
	・テキストを見ながら、「ふるさと」という言葉から思いつくものを書き出し、発表する。 ・「ふるさと」（作詞：高野辰之）の歌詞から故郷のイメージを固める。	・自分たちの地域の誇れるものやこと人について、自由に発想し意見を出せるように雰囲気づくりに努める。 ・イメージマップをかかせてもよい。 ・動機付けに、「人権スポット」を活用することも考えられる。 ・歌詞の解釈をする。 ・「ふるさと」を自分が安心して存在できる場所・自分の存在をまるごと受け止めてくれるべき所として確認する。	ワークシート 参考1 DVD 参考2
展 開	地域を愛し、地域で活動している人に出会おう。		
	・「ふるさと」から思いついたものをもとに学習コースを設定する。 ・学習コースに分かれ、それぞれのテーマについて学習し、まとめる。 〈コース学習の例〉 ・地域の歴史コース ・地域の福祉施設コース	・地域の実態や学校の規模等に応じたコース設定を工夫する。 ・それぞれの希望を尊重したグループ編成をする。 ・実施に際しては、保護者や地域の人との協力を要請することも考えられる。	ワークシート例

展 開	・地域の伝統芸能・文化コース ・地域の行政コース	
	学習発表会を開こう。 ・コースごとに学習した内容をまとめ、発表する。 ・学習した内容の他、学習に協力してもらった人たちから感じ取ったことなども発表させたい。 ・学習に協力してもらった地域の人たちにも発表を聞いてもらおうとよい。	ワークシート例
ま と め	学習をふり返ろう。 ・学習を通して、心が揺さぶられたことや身に付けたこと、自分にとっての「ふるさとの誇り」を発表する。 ・学習をふり返ると同時に、自らの暮らしぶりを見直す。	
		ふり返りシート

《参考1》 イメージマップ



イメージマップ作成方法

- ・用紙中央に「ふるさと」と書き込む。
- ・「ふるさと」から思い浮かんだこと（例：公園）を周りに書き込み、線で結ぶ。
- ・そこからさらに思い浮かんだこと（例：ブランコ、木など）をどんどん書き込み、線で結んでいく。

‘ふるさと’について考えてみましょう。

◇あなたが生まれたところはどこでしょう？

◇あなたが育ったところはどこでしょう？

◇あなたが今、住んでいるところはどこでしょう？

◇あなたにとって ‘ふるさと’ と呼べるところはどこでしょう？

◇なぜ、そこが ‘ふるさと’ なのでしょう？

◆ ‘ふるさと’ と聞いて思い浮かんだものを書いてみましょう。

◎一言で言うと ‘ふるさと’ とはどんなところですか？

ところ

名前

コース別学習

コース名 地域の伝統芸能・文化コース

話してくれた人 奈良 太郎 さん （祭り保存会会長）

話の内容をメモしましょう。

- ・ 600年前から行われている伝統ある祭り。
- ・ 10月の最終土曜日に、豊作をお祝いして、みこしをかついで村中を練り歩く。
- ・ 以前は男しかみこしをかつげなかったが、10年前からだれでもかつげるようになった。
- ・ 最近では、若い人が都会に出て行って帰ってこないことが多く、祭りを続けていけるか心配。

感想をまとめましょう。

小さいころは、お祭りになるとお菓子がもらえてうれしかった。でも、奈良さんのお話を聞いて、お祭りを続けていくのはたいへんなことだと思った。
みこしをかつぐ奈良さんは、とてもかっこいいと思った。

事後学習（他のコースの報告をメモしましょう。）

地域の行政

コース

誰もが暮らしやすい町にするのが行政の仕事。そのために、町の人たちの声を聞くことを大切にされている。・・・・・・・・

コース

他のコースの報告を聞いた感想をまとめましょう。

どのコースの報告も自分が住んでいる地域なのに知らないことがいっぱいだった。
自分たちの暮らす地域を良くしようとがんばっている人がいることに感動した。

学習をふり返ってみて考えたことをまとめましょう。

この学習を通して
知ったこと

これからやってみようと思ったこと

できるようになったこと

がんばったこと

あなたにとっての「ふるさとの^{ほこ}誇り」とは？

名前
